

市民意見聴取に係る施策の概要

案件名： 尼崎市文化ビジョンの改定

局課名： 総合政策局 文化・人権担当 文化振興課

施策の目的	本市における文化施策の指針として平成29年3月に策定した「尼崎市文化ビジョン」の取組期間が令和4年度で終了するため、改定します。
現状・背景	<p>○現ビジョンでは、本市が目指す姿として3点、本市の取組の柱として3本を掲げ、それに基づき文化施策に取り組んでいます。</p> <p>○令和元年度には、生涯学習及び自治のまちづくりの拠点として市内12か所の生涯学習プラザを位置づけ、芸術・文化活動の場として、さらなる活用が期待されています。</p> <p>○市の新たなまちづくりの指針として現在策定中の尼崎市総合計画(第6次)においては、文化行政の位置づけを、これまでの「魅力創造・発信」としての施策から、「地域コミュニティ・学び」の施策としての文化芸術活動の推進へと転換する予定です。</p> <p>○現ビジョン策定後の法改正等を踏まえた内容とする必要があります。</p>
課題	<p>○現ビジョンに基づく事業の進捗確認として、毎年度、専門家による現地視察を踏まえた評価と個別事業の評価を実施していますが、ビジョン全体を総括的に振り返るしくみについても検討が必要です。</p> <p>○コロナ禍の影響など、現ビジョン策定時から社会をとりまく環境の変化に対応していく必要があります。</p>
施策の策定にあたっての考え方	<p>○改定にあたっては、これまでの事業評価も踏まえる中で、現ビジョンの成果・課題を総括するとともに、並行してビジョン全体の進捗管理を行うしくみづくりについても検討します。</p> <p>○現ビジョンが長期的な視点で示している目指す姿「文化の担い手が活躍しているまち」、「文化資本が次世代へ継承されているまち」、「市民の地域への愛着が高まっているまち」については、引き続き継承して取り組むことを基本に考えます。</p> <p>○本市の取組の柱「若い人の夢とチャレンジを応援する」、「育まれてきた歴史・伝統・文化を継承・発展させる」、「市民の芸術体験を支える」とそれぞれの取組に対する方向性については、「現状・背景」及び「課題」で示したポイントに対応した改定を検討していきます。</p> <p>○(公財)尼崎市文化振興財団について、建物としての総合文化センターを市へ譲渡することを機に、そのあり方や市との役割分担について、改めて検討します。</p>
意見を聴取するポイント	○「若い人の夢とチャレンジを応援する」、「育まれてきた歴史・伝統・文化を継承・発展させる」、「市民の芸術体験を支える」といった取組に関する市民の意識や、コロナ禍における文化活動の実施状況といった特に意識すべき今日的な課題について、広く意見を募集します。
市民意向調査(ステップ2)の実施手法	令和4年6月頃に、無作為抽出による市民3000人を対象にアンケートを実施します。
お問い合わせ先	文化振興課 〒660-8501 兵庫県尼崎市東七松町1丁目23番1号 本庁中館7F 電話番号(TEL) 06-6489-6385 ファクス(FAX) 06-6489-6702 メールアドレス(Eメール) ama-art@city.amagasaki.hyogo.jp